

図書館だより

3月号

令和7年3月3日
港区立青山中学校
校長
学校司書
図書館支援員

中田 和直
三島 裕美
武田 優子
塩野谷 恭輔

青山中学校版2024年 10大ニュース投票結果発表!

青山中の皆さんが選んだ2024年10大ニュースは…

- ① 石川・能登で震度7、津波被害
 - ② 日本銀行、20年ぶりに新紙幣発行
 - ③ 大谷翔平、米大リーグ初「50-50」
 - ④ 闇バイトで強盗相次ぐ
 - ⑤ 日航機と海保機が羽田で衝突、炎上
 - ⑥ パリ五輪、日本は海外最多メダル45個
 - ⑦ DeNA26年ぶり日本一
 - ⑧ 漫画家の鳥山明さん死去
 - ⑨ 円安34年ぶり1ドル160円台
 - ⑩ 自民党総裁に石破氏、首相に就任
- でした。ご協力ありがとうございました。

いよいよ今年度最後の月になりました。この1年間、それぞれに様々な思い出ができたことでしょう。3年生はもうすぐ卒業ですね。おめでとうございます。1・2年のみなさんは、4月には進級を迎えます。来るべき変化に備え、準備を始めましょう。まずは返し忘れている本、持ち帰ってしまった学級文庫があれば必ず返却してください。

1, 2年生限定・春休み特別貸し出しのお知らせ

3月10日(月)~21日(金)は春休みの特別貸し出しを行います。1, 2年生は5冊借りることができます。貸出中の本はまず返却してから特別貸し出しの手続きをしてくださいね。

3年生のみなさんの最終返却日は貸出期限にかかわらず3月10日(月)です。

★3月の特集展示は「卒業」です。

「卒業」という言葉には、別れを意味する悲しいニュアンスもありますが、新しい門出を祝う節目でもあります。今月の展示では、物事の区切りを扱う本を取り上げています。

★図書館の様子

図書委員会のSDGs活動で「本のリサイクル」を実施しました。



そしてピタリ賞
の行方は??



残念ながらピタリ賞はいませんでした、準ピタリ賞(正解数8)に輝いたのは…
「2-2Y.Hさん」です。

おめでとうございます! 図書館に賞品を取りに来てくださいね!

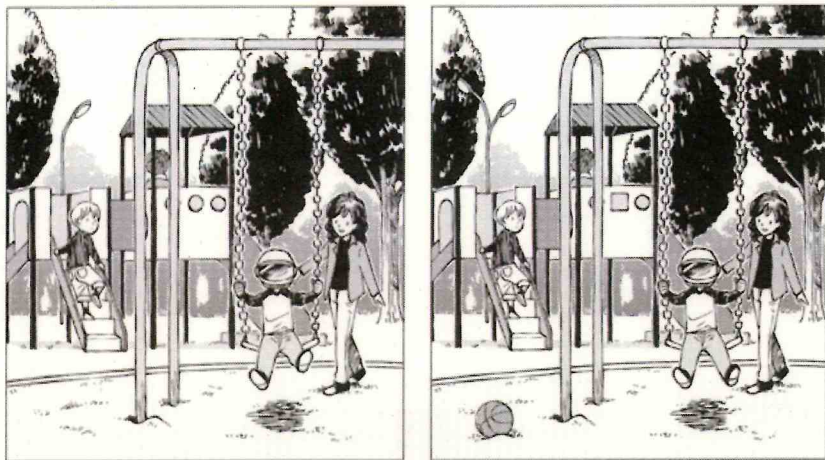
名作まちがいがし

「Wonder ワンダー」

R・J・パラシオ

学校に通う前、オーガストはおもちゃの宇宙飛行士のヘルメットで顔を隠し、公園で遊んでいました。ジャックはそれを見ていて、オーガストが学校にやってきた時に「公園のあの子だ」とすぐに気づきました。

下の2枚の絵の違いを5か所見つけてください。



作品の概要・解説

ニューヨークに暮らす一〇歳の男の子、オーガストは、両親や姉に愛されて育った普通の子です。ただひとつ、生まれつき顔に障害があり、要望が普通とは大きく異なることを除いては。

そんな彼が初めて学校に通うようになった時、生徒たちは彼の顔をジロジロ見たり、悲鳴をあげたりして、中には「病気がうつる」と露骨に避ける生徒までいました。その一方で、オーガストの賢さや、内面の魅力に気づいてくれる生徒もいて、彼は少しずつ学校生活になじんでいくのですが……。

オーガスト本人、クラスメートのジャック、実の姉などの登場人物がそれぞれの思いを語る構成が特徴的です。障害やいじめに負けず成長するオーガストと、彼をめぐる人間模様を描き、映画化もされた感動作です。

著者のR・J・パラシオ（一九六三年〜）は、作家、編集者、アートディレクターなどとして活躍しています。ほかの著書には、ワンダーの続編『もうひとつのワンダー』、昨年末に映画化されたスピノフ作品『ホワイต์バード』などがあります。

※『Wonder ワンダー』やシリーズ本は、ほるぷ出版から刊行されています。

青山中学校図書館スタッフより 卒業する皆さんへ

卒業
おめでとう!

学校司書 三島裕美

ご卒業おめでとうございます。新しい生活が始まり、皆さんはこれから沢山の人と出会いがあると思います。その1人1人との出会いを大事にしてください。そして人との出会いと同じように、1冊の本との出会いも大事にしてください。この世の中に存在している多くの本の中から巡り合えた1冊の本は、きっと皆さんにとって貴重な出会いのはずです。1冊の本、1人の人との繋がりを大事にして、自分の人生をより豊かなものにしていってください。ずっと応援しています。

図書館支援員 武田優子

皆さんが青山中学校に入学してきたときのことを思い出します。3年間、本と図書館に親しみを持ってたくさん利用してくれましたね。皆さんのおかげで図書館イベントはいつも大成功でした。図書館は、本の好きな人が本を読むだけの場所ではなく、皆さんの「好き」を突き詰める場所、皆さんの「考え」や「伝えたいこと」の根拠を示す資料がたくさんある場所でもあります。図書館はこれからもあなたの近くにあって、本はいつでもあなたの味方です。これからもずっと笑顔で、幸せでいてください！

図書館支援員 塩野谷恭輔

ご卒業される皆さん、おめでとうございます。寒暖入り交じる3月は過ごしやすく、また新生活が始まる直前ですから、気持ちにも余裕のある時期かもしれませんね。昭和の劇作家であった寺山修司に『書を捨てよ、町へ出よう』という作品がありましたが、皆さんも心機一転、新たな環境へと踏み出し、さらなる飛躍を遂げられることを祈っています。そして、また落ち着いたたら本を読みに図書館に戻ってきてください。